



## 第51回雪椿まつり トレジャーハンティング(4月9日 市民体育館)

### 主な内容

- 第51回雪椿まつり開催…………… 27
- 粟ヶ岳山開き…………… 8
- 歯の健康…………… 9
- 雪椿杯バレーボール・雪椿マラソン結果 9
- 加茂の風土記「加茂町商人の田畑所有」10

百年に一度の唯一の好機！

新加茂病院に産科の個室 20室を確保しました！ 妊婦の方々は、皆 個室を希望しています。

新加茂病院の隣りに病児保育園を確保しました！ お金は加茂市と田上町が負担！

この二つこそ絶対必要な少子化対策！

産科の個室が1つでは、医師も妊婦もやって来ず、産科は実現しません。

# 第51回 雪椿まつり 開催



ミス雪椿の馬場佳織さん(左)、ミス雪椿クイーン寒河江美樹さん(中)、ミス雪椿の小玉早矢夏さん(右)

第五十一回雪椿まつり大園遊会が四月二十三日に開催されました。毎年たくさんの人でにぎわう中でミス雪椿公開審査、歌謡ショー、大島町交歓会が楽しめました。当日は、気温が上がらないという予報でしたので市民体育館での開催となりました。

## ■大園遊会

大園遊会の会場設営のときから、二十三日の気温は低くなるとの予報により、六回続けて市民体育館での開催となりました。

オープニングで小池清彦市長は「昨年は熊本地震で市中パレードが中止となりましたが、今年はパレードまで一日楽しんでください。」とあいさつして始まりました。

ミス雪椿公開審査は、四月二日の第一次審査で選ばれた十名がステージに登場し、会場内の皆さんから投票していただきました。午後二時からの今年のミス雪椿発表で、ミス雪椿クイーンに寒河江美樹さん、ミス雪椿に馬場佳織さん、



大園遊会会場となった市民体育館

小玉早矢夏さんが決まりました。ミス雪椿の三人には来年の雪椿まつりまでの一年間、加茂市の観光PRやイベント、セレモニーで活躍していただきます。

この公開審査の前に、昨年から一年間活躍していただいたミス雪椿の南雲満里奈さん、野俣佳那さん、藤田茜さんへ子どもたちから花束と大きな拍手が贈られました。アトラクションは最初に加茂松坂協会の「佐渡おけさ」からスタートし、星の会の「津軽タント



菊田真紀子 衆議院議員



伊藤健一 新潟県農林水産部治山課長  
(新潟県知事代理)



松田千春 JR東日本新潟支社  
営業部旅行業課長(支社長代理)

午後一時からは友好都市大島町との交歓会では、三辻利弘大島町町長と小池清彦市長が固い握手を交わして始まりました。三辻町長からは「三原山噴火や平成二十五年の台風災害のときは、加茂市民の皆様からあたたかいご支援をいただいたことを忘れません。復興も進み観光客数も被災前に戻ってきています。」とあいさつされました。

小池市長は「加茂の雪椿まつりと大島町の椿まつりは、ともに歩んできました。この長く深めてきた市民の交流は、これからも続いていきます。」とあいさつし、加茂市から桐三段小箱が、大島町から椿の花焼き大皿がそれぞれ贈ら

節」、ザ・松坂の「加茂松坂」、秋扇会の「俺の出番はきつと来る」が披露されました。  
つづいて永井みゆきさんを迎えるの歌謡ショーです。永井みゆきさんは、この雪椿まつりのステージに立つのは二回目、観客席に降りて歌うとたくさんの人から握手を求められたり、加茂の特産品をプレゼントされたり、楽しいステージとなりました。



大島婦人会による「波浮の港」の踊り



握手を交わす三辻町長と小池市長



ミス大島の高田蛍さんと司会の水島知子アナウンサー



勇壮な御神火太鼓の演奏

れました。  
 続いて、ミス大島の高田蛍さん  
 を紹介し、大島町婦人会による  
 「波浮の港」と「大島節」の踊り、  
 勇壮な御神火太鼓が披露されまし  
 た。



ゲスト歌手の永井みゆきさん

### ■市中パレード

新しいミス雪椿の三人をお披露  
 目する最初のイベント、市中パレ  
 ードが、午後三時にJR加茂駅前  
 をスタートしました。自衛隊新発  
 田駐屯地第三十普通科連隊の車両  
 からミス雪椿クイーンの寒河江美  
 樹さんとミス大島の高田蛍さん、  
 ミス雪椿の馬場佳織さんと小玉早  
 矢夏さんが笑顔で手を振って、大  
 通り沿道からのお祝いの声に応え  
 ていました。

パレードは県警音楽隊とカラー  
 ガード、ボイススカウト、交通安  
 全協会、交通安全母の会、ブラ  
 ス・ワン、大島町の皆さんと御神  
 火太鼓、陸上自衛隊音楽隊、BF  
 C少年消防クラブ、本量寺保育園、  
 須田保育園の皆さんが参加しまし  
 た。

### ■雪椿マラソン

市中パレード出発前、午後二時  
 三十分にJR加茂駅前を百二十四  
 人がスタートしました。大通りでは  
 声援を受けながら、道半交差点  
 | 昭和橋 | 八幡桜並木を通る三km  
 と八kmコース九部門で、出場者全  
 員が完走しました。



星の会による「津軽タント節」



加茂松坂協会による「佐渡おけさ」



秋扇会による「俺の出番はきっと来る」



ザ・松坂による「加茂松坂」



大島町の皆さんが御神火太鼓を披露



県警音楽隊とカラーガードのパレード



陸上自衛隊音楽隊の演奏

■9日(日)  
雪椿杯バレーボール大会

県内七市町から十五チームが出場しました。開会式では、出場全チームに雪椿の苗木と加茂美人の湯招待券などが贈られました。結果は四日町クラブ(三条市)が三年ぶり二回目の優勝を決めました。

■9日(日)  
トレジャーハンティング

前日からの雨により、市民体育館が会場となりました。スゴロクをテーマにした八つの冒険アトラクションが用意され、大きなダンボール迷路やキーワード集めで子どもたちは楽しみました。

■29日(祝) 市民茶会

当日午後から雨との予報により、青海神社拜殿と貴賓室、公民館研修室の三席で開催されました。午前中から大勢の方からおいでいただき、時間を早めて始まりました。二十三日の大園遊会でミス雪椿クイーンになった寒河江美樹さん、ミス雪椿の馬場佳織さん、小玉早矢夏さんも各茶席を訪れ、おいでいただいたお客様に加茂市のPRをしていただきました。



交通安全を呼びかけるボーイスカウト



演奏で楽しませてくれたプラス・ワンの皆さん



ミス雪椿の馬場佳織さん（左）と小玉早矢香さん（右）



ミス大島の高田蛍さん（左）と  
ミス雪椿クイーンの寒河江美樹さん（右）



交通安全協会の皆さん



交通安全母の会の皆さん



本量寺保育園園児の幼年消防クラブ



BFC少年消防クラブによる鼓笛隊演奏



雪椿マラソン スタート前の様子



須田保育園園児によるパレード演奏



青海神社拝殿 表千家流の茶席



青海神社貴賓室 裏千家の茶席



公民館で開催された宗徧流の茶席



午前中は大勢のお客様にぎわった各茶席

## 9日 バレーボール大会／トレジャーハンティング



# 登山シーズンの始まりを告げる 粟ヶ岳山開き



残雪に囲まれた七合目ヒュッテ



第二ダムの登山道入口でテープカット



当日の朝には約二百三十人が集まり、安全祈願をしました。

登山前に北澤会長は「昭和三十三年の第一回山開きから数えて六十回目となります。当時は約四十人が参加したと記録にありました。」と話しました。大澤署長からは「昨年は粟ヶ岳での事故や出動がありませんでした。今シーズ

四月二十九日、粟ヶ岳登山シーズンのスタートとなる山開きがありました。水源地第二ダムの中央登山道入口で安全祈願が行われ、北澤忠男加茂山岳会会長、大沢宣夫加茂警察署長、小池清彦加茂市長がテープカットすると集まった約二百三十人が山頂目指して出発しました。

今年も安全で楽しい思い出にしてください。」とあいさつされました。そして小池加茂市長は「粟ヶ岳より高い山はたくさんありますが、粟ヶ岳より美しい山は多くはありません。まだ残雪も多いので、無理をされず、安全な登山をなさってください。」とあいさつしました。

今年は、七合目付近から雪が残っているようですが、五月中旬ころには雪のない「夏道」の登山道が使えるようになるそうです。





## お口の健康と

### 全身のかかわり

多くの役割を担う口から  
全身の健康を促進しましょう

全身とのかかわりを考えてみると、口には実に様々な働きがあります。

#### ■脳の活性化と

##### ストレスコントロール

ガムを噛むことで眠気防止やストレス解消になることが知られていますし、噛むことによって脳への血流量が増すことも知られています。ネズミでの実験では、「良く噛んで食べる餌」で育てられた方が記憶力に優るという結果も報告されています。

#### ■コミュニケーション

気心の知れた人とおしゃべりやストレス解消ができたり、他の人に言葉や（きちんと歯を見せての）笑顔で意思を伝えることで心の健康がはかられたり、といった経験があることと思います。

#### ■おいしく食べる

「食事のおいしさ」には、見た目、香り、食べる場所やメニューも大きく影響しますが、「味わい」に直接関係するのは味、歯ごたえ、舌触りや喉越しです。それらは「適量の唾液を分泌する唾液腺」「きちんと味を感じる舌」「確実に噛める歯」「むせることなくスムーズに飲み込める喉」があつてこそそのモノです。

#### ■体を支え、姿勢を安定させる

アーチェリーや射撃の選手では、歯の詰め物の高さが微妙に違うだけで成績を左右することがあります。また、噛み合わせの正しい義歯を使っている高齢者は「寝たきり」になりにくいとの報告があります。

#### ■食事中の姿勢

口と全身の関係でもう一つ気を付けたいのが「食事中の姿勢」。足を組んだまま前屈みで、スマホに目をやりながら横座りや、テレビを見ながら寝転んで、食事をすることは「骨格と、消化を担当する内臓の位置関係」を歪ませ、顎の関節や内臓に負担をかけると言われていきます。

(加茂市歯科医師会)

## 第33回雪椿杯争奪

### 加茂市近郷家庭婦人

### バレーボール大会

期日 四月九日

会場 勤労者体育センター

参加 県内十五チーム

優勝 四日町クラブ (三条市)

準優勝 新潟ひかりクラブ (新潟市)

三位 新通クラブ (新潟市)

白根クラブ (新潟市)

#### 【個人賞】

最優秀賞 遠藤亜沙美 (四日町ク)

優秀賞 岩槻和美 (新潟ひかりク)

技能賞 山谷早紀子 (四日町ク)

敢闘賞 岡崎真弓 (新潟ひかりク)

小林友香 (新通ク)

渡辺淑子 (つかさク)

## 第38回雪椿マラソン

期日 四月二十三日

出場・完走選手 百二十四名

【3 kmコース・駅前→道半交差点→

八幡桜並木→ゴール】

▼小学三・四年生男子の部①渡辺彪

我11分44秒 (三条ジュニア) ②石附

嶺志 (加茂レッドファイヤードッジ

ボールクラブ・加茂南小) ③鶴巻来

音 (加茂Jr陸上・石川小) ▼小学

三・四年生女子の部①落合杏12分2

秒 (五泉少年マラソンクラブ) ②安

達優衣 (五泉少年マラソンクラブ)

③石塚春菜 (五泉少年マラソンクラ

ブ) ▼小学五・六年生男子の部①吉

田優也9分57秒・最優秀選手賞 (新

潟市・中野山小) ②安達光流 (五泉

少年マラソンクラブ) ③安達光希

(五泉少年マラソンクラブ) ▼小学

五・六年生女子の部①間嶋柚奈11分

2秒・最優秀選手賞 (五泉少年マラ

ソンクラブ) ②伊藤未桜 (五泉少年

マラソンクラブ) ③石本美月 (五泉

少年マラソンクラブ) ▼中学生男子

の部①河治颯汰朗10分45秒 (若宮

中) ②鈴木雅貴 (若宮中) ③小笠原

大耀 (新潟市・宮浦中) ▼中学生女

子の部①吉田美奈13分16秒 (新潟市・

石山中) ▼一般・高校女子の部①山

本理恵子13分1秒 ②波塚美奈子 ③小

嶋のどか (加茂Jr陸上・燕中等校)

▼壮年男子 (40歳以上) の部①高井

滋9分17秒 (いからしの里) ②梅田

誠 (FUN RUN) ③鶴巻俊史

【8 kmコース・駅前→道半交差点→

八幡桜並木→猿毛集会場脇→ゴー

ル】

▼一般・高校男子の部①松澤孝幸26

分42秒 (五泉市駅伝チーム) ②鈴木

彰 (五泉市駅伝チーム) ③松尾健汰

(加茂農林高)

# 加茂町商人の田畑所有

## 森田家の事例から

江戸時代の加茂町は、延宝年間（一六七三～八一）にはできていた上町、それ以前からあった本町と元禄五年（一六九二）にできた穀町・肴町（穀町と松坂町の一部）・横町などの七つの町からなっていた。

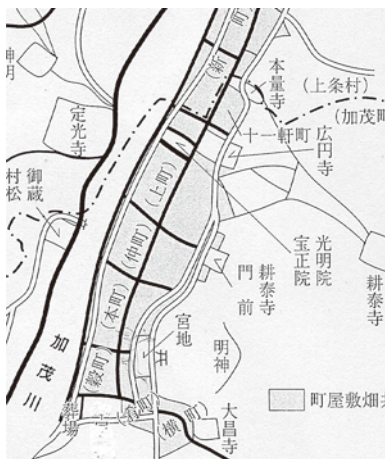
中期の寛延三年（一七五〇）で町通りをみると、百六十五軒の商人が町屋を構えていた。それぞれの町屋の間口は六間（約一〇・八メートル）～三間（五・四メートル）で、奥行は裏側の上江川や下江川までの五十間～四間（九〇～五・二メートル）でそれぞれ細長い短冊型町屋敷となっていた。

# 加茂の風土記

彼らは、所有の町屋敷に掛かる年貢を納めていたほかに、それぞれ所有する田畑の年貢も納めていた。各商家の田畑所有によって、一石以上を納める六十四軒、一石以下を納める百一軒があった。すな

わち加茂町の商家は各自所有する田畑の多寡はあるものの、それぞれの屋敷地のほかに田畑を所有し、そこから生産される米に対応した年貢を納めていた。

新潟町（新潟市中央区）や沼垂町（同）のように商業活動のみを専門に行う商人ではなく、加茂町は身分としては百姓で田畑を有し、その上でそれぞれの商業活動に従事していた。



『寛保二年（一七四二）加茂町絵図』  
上から十一軒町・上町・本町・横町などの町があり、約百六十五軒の町屋敷があった。

その一例として上町で一般的な商業ではなく、医業を開いていた森田仙庵（蘭方医千庵の祖父）家（現在の永井茶舗あたり）では、間口四間五尺（約八・七メートル）に掛かる四升三合の商人役と所有田畑年貢の十七石一斗余を納めていた。森田家の田は、加茂町西部の番田（番田）や木ノ下（大郷町二丁目あたり）・大郷（大郷町あたり）に合わせて三町歩余を所有していた。同家では、仙庵自身や家族がこれら田畑を耕作したのではなく、小作者が耕作していた。同家は所有する田畑に相応する年貢を納めていた。

このように加茂町の商家（商人）は所有する田畑の年貢を上納していた。なかには所有が少なかったり、町の居屋敷地だけの年貢を納める商家もあった。その上でそれぞれの商業活動を行っていた。町が発展してきた江戸時代中期以降の加茂町は、こうした商家のほかに、田畑や家屋を持たない借家層も増えていった。文政十一年（一八二八）には六百三十四軒もあり、下駄作りや古着屋・唐傘屋など諸職に就いたり日料取などで、江戸時代後期の加茂町の発展を支えていた。

（関 正平）



社会福祉費寄付金  
▼加茂菓子組合から十万円

### 人口のうごき

4月1日現在  
世帯 10,296 (-4)  
人口 28,019 (-134)  
男 13,578 (-69)  
女 14,441 (-65)  
( )内は前月比  
(3月異動分)  
出生 10 (男4女6)  
死亡 43 (男19女24)  
転出 199 転入 98